

1. 職務の理解

- 介護職のあるべき姿や、介護保険をはじめとする社会福祉制度の全体像についての学習。
- 介護職として関わる環境や仕事内容など、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。
- ケアプランに基づくサービス提供など、具体的な介護職の役割を学習。

2. 介護における尊厳の保持・自立支援

- プライバシーの保持・自立支援など、介護に関する考え方の基本を身に付ける。
- 人権や尊厳を守ることの重要性の理解。

3. 介護の基本

- 介護職員の役割や専門性などを学習。
- 事故防止、感染症予防、リスクマネジメントなど、安全な介護を行うための技術の学習。

4. 介護・福祉サービスの理解と医療の連携

- 介護保険や障害福祉の制度に関する学習。
- 介護保険制度や障害自立支援制度で、最低限知っておくべき制度、サービス利用、各専門職の役割・責務についての学習。

5. 介護におけるコミュニケーション技術

- 介護における、コミュニケーション技術の学習。
- 利用者とのコミュニケーションに関する専門的な知識、行動例など。

6. 老化の理解

- 加齢・老化に伴う変化について学習。
- 高齢者に多い疾患や留意点及び、能力低下についての理解。

7. 認知症の理解

- 認知症についての正しい理解、基本的な関わり方などの学習。
- 介護職に必要とされる、認知症を理解することの重要性、介護する時の判断の基準等。

8. 障害の理解

- 障害の概念、障害福祉についての基本的な考え方の学習。
- 障害の種類やそれぞれの医学的な側面・心理的な影響など。

9. こころとからだのしくみと生活支援

- 介護技術の基本や事例に基づく演習。
- 介護現場で求められる基本的な介護技術（移動・食事・排泄・入浴など）について、参加者同士がグループディスカッションを交えながら習得。

（実技）

- 実際の介護を行うトイレ、ベッド、車椅子等を利用し、就労後の介護現場ですぐに活かせる介護技術を身に付ける
- 福祉用具を実際に利用して、使用方法や注意事項を実際に、受講生同士が互いにモデルになり学習する。

10. 講義の振り返り

- 研修全体の振り返り、本研修を通じて学習したことについて再確認する。
- 介護職員として就業後も継続して学習する姿勢、学習課題の認識を持つ。
- 修了評価としてテストの実施。